

上牧町地域公共交通ニーズ調査について

《 クロス集計結果概要 》

令和8年（2026年）6月

上牧町地域公共交通協議会

1. 調査の概要

ニーズ調査の目的

調査概要

路線バス、タクシーやコミュニティバス等、既存の公共交通について、町民のみなさまの普段の生活行動やニーズ、公共交通の利用状況を把握し、今後の検討に活かすべく、アンケート調査を実施した。

	調査概要
調査期間	2025年12月19日（金）～2026年1月17日（土）
調査対象地域	上牧町全域
調査対象者	上牧町に在住の15歳以上の方3,000名（無作為抽出）
主な調査項目	・ 回答者の属性 ・ 目的別外出状況（通勤・通学、買い物、通院、町内の公共施設利用） ・ 町が運行するコミュニティバスの利用状況 ・ 公共交通の在り方・評価 ・ 町内における新しい公共交通 ・ 自由記述
発送・回収方法	発送方法 ・ 郵送発送（調査票、返信用封筒） 回収方法 ① 郵送回収（調査票に回答し、返信用封筒で返送） ② WEB回収（調査票にURL及び二次元コードを掲載、専用のフォームで回答）

令和7年12月

上牧町における公共交通に関するアンケート調査
～ご協力をお願い～

【このアンケートについて】

- 上牧町では、町民の皆さまの移動手段である公共交通を確保・維持・改善していくため、様々な取組み検討を行っています。
- 路線バス、タクシーやコミュニティバスなど、既存の公共交通について、町民の皆さまの普段の生活行動やニーズ、公共交通の利用状況を把握し、今後の検討に活かすべくアンケート調査を実施します。
- より良い公共交通の維持・改善のため、アンケートにご協力をお願いします。

【回答方法について】

- 「インターネット」が「郵送」のどちらか一方のみ、回答してください。↓二次元コード↓

① インターネット
専用の回答フォームから回答できます。右記の二次元コードまたは下記URLからフォームにアクセスし、回答してください。
回答フォーム：https://arcgis/18XL9m0


WEB回答は
「こちら」

- ② 郵送
同封の調査票に回答を直接記入してください。
記入した調査票を同封の返信用封筒で郵送してください（切手不要）。

- 調査対象者は、上牧町に在住の15歳以上の方 3,000人（無作為抽出）
- 回答期限は令和8年1月17日（土）【必着】です。

■■■■ 回答する前にお読みください ■■■■

- 代理の方が入力・記入して回答しても構いませんが、宛名に本人の状況を回答してください。
- 答えたくない設問については、お答えいただくなくても大丈夫です。
- 回答は、該当する口に✓印をつけてください。
- 質問によって回答を「1つだけ選ぶ」ものや「複数選ぶ」ものがあります。
- 設問をよく読んで回答してください。

【お問合せ】 上牧町 都市環境部 まちづくり推進課

TEL：0745-76-2503
FAX：0745-76-1002


みなさんと町内の公共交通を
より良いものにしていきましょう!!
回答お待ちしております!!

上牧町
ゆりぼーん

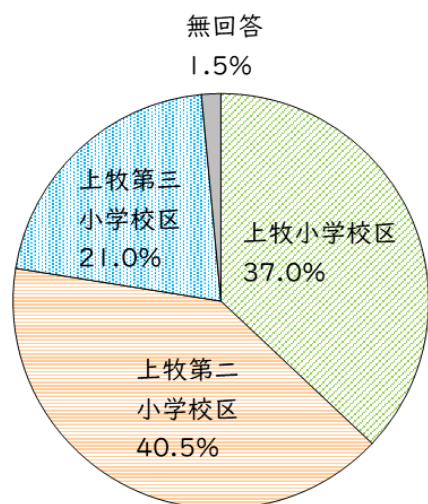
アンケート調査票（表紙）

2. 回収状況

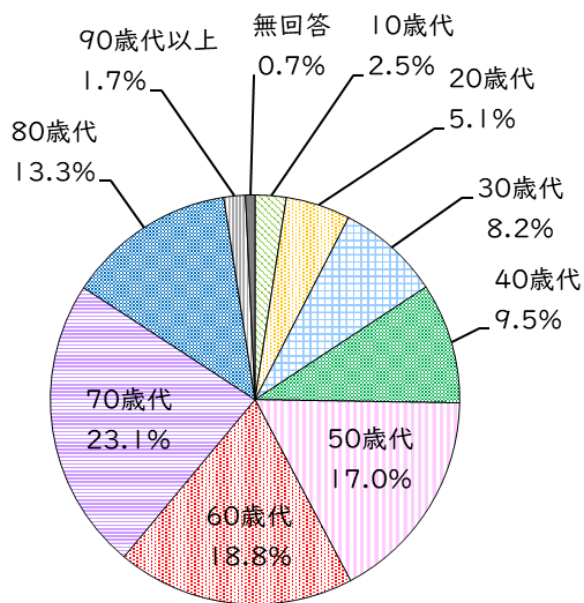
- ◆回収率は5割程度と非常に高く、公共交通への関心の高さが表れている。
- ◆各地域、年齢層、職業から回収を得ており、幅広い意見を収集できている。

回収数/配布数	1,469通/3,000通（郵送による回答：991通 WEBによる回答：478通）
回収率	49.0%

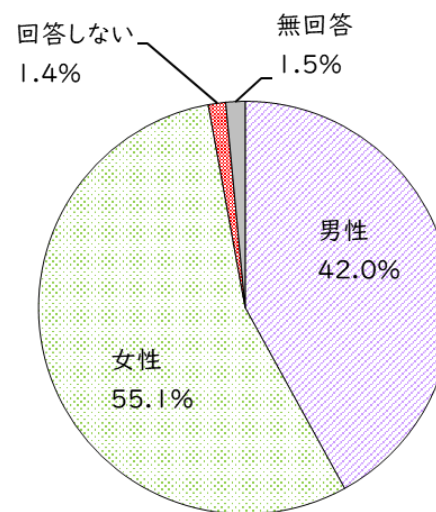
住まいの小学校区



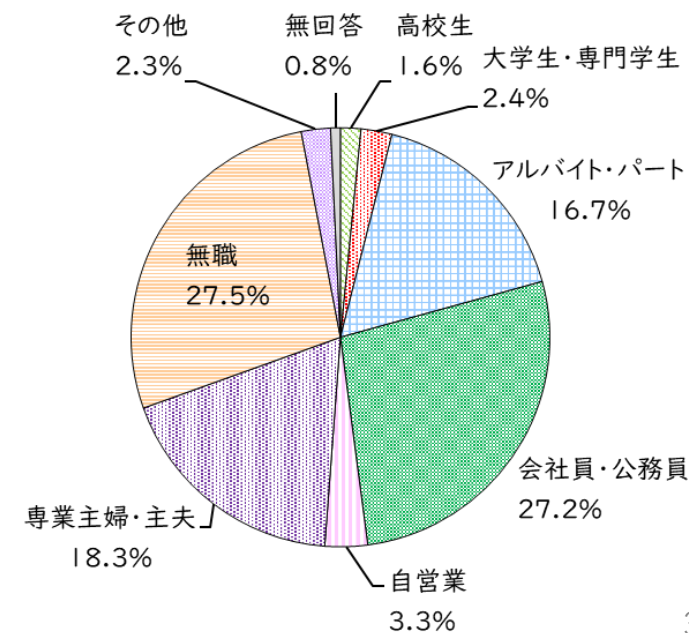
年齢



性別



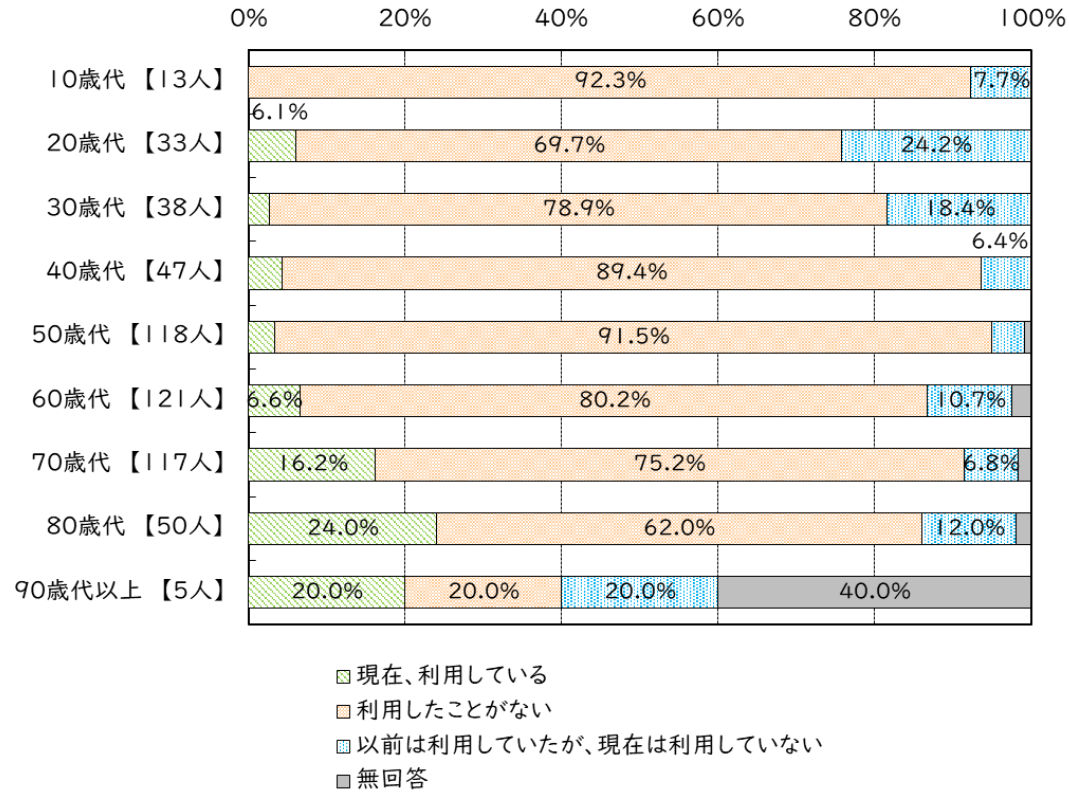
職業



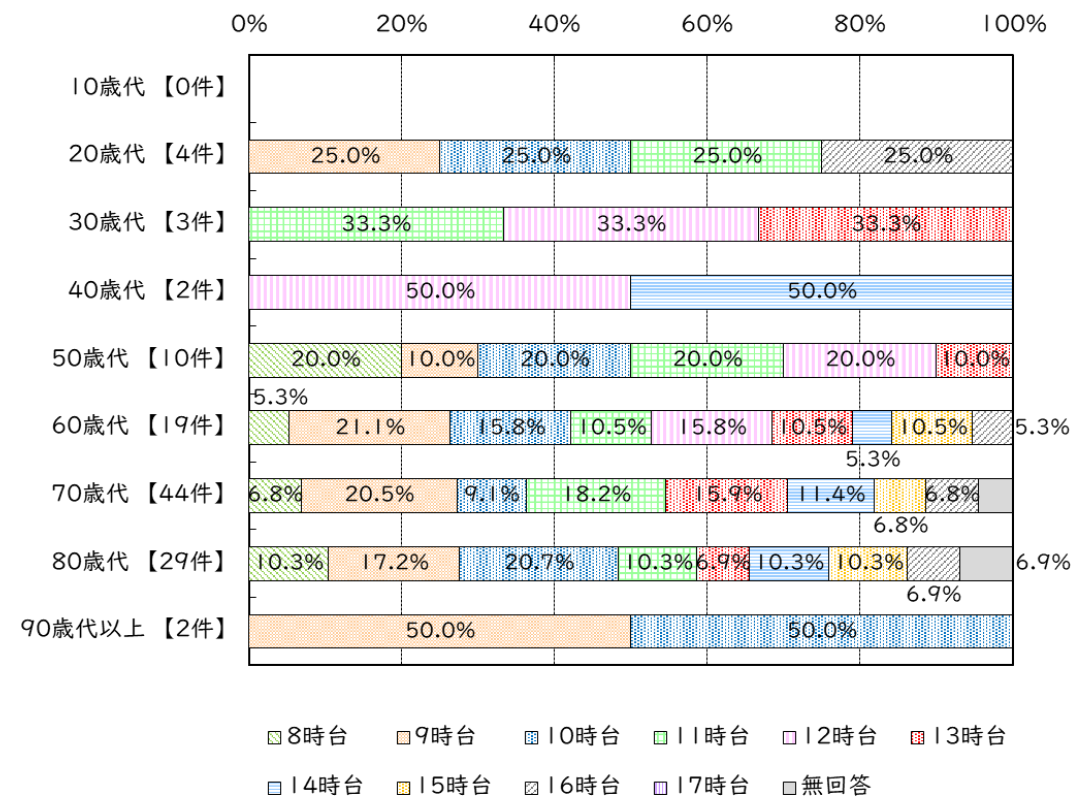
3. コミュニティバスの利用状況

上牧小学校区

現在の利用状況



よく利用する時間帯



◆コミュニティバスを「現在、利用している」の割合は、80歳代で最も多い。実利用者数は70歳代が最も多い。

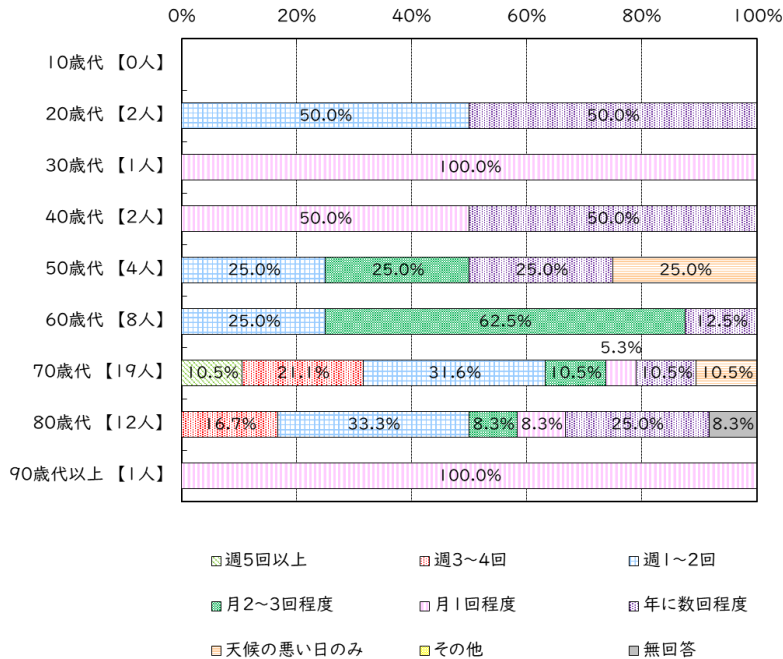
◆「以前は利用していたが、現在は利用していない」は各年代に一定数いるが、20歳代や30歳代といった若年層で多くなっている。

◆利用時間帯は、全体的に午前の時間帯が多くなっている。

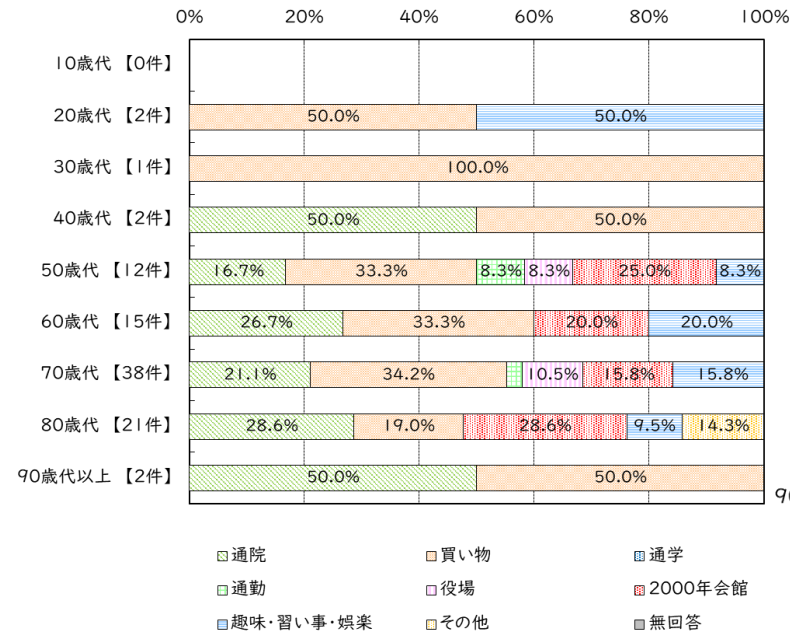
3. コミュニティバスの利用状況

上牧小学校区

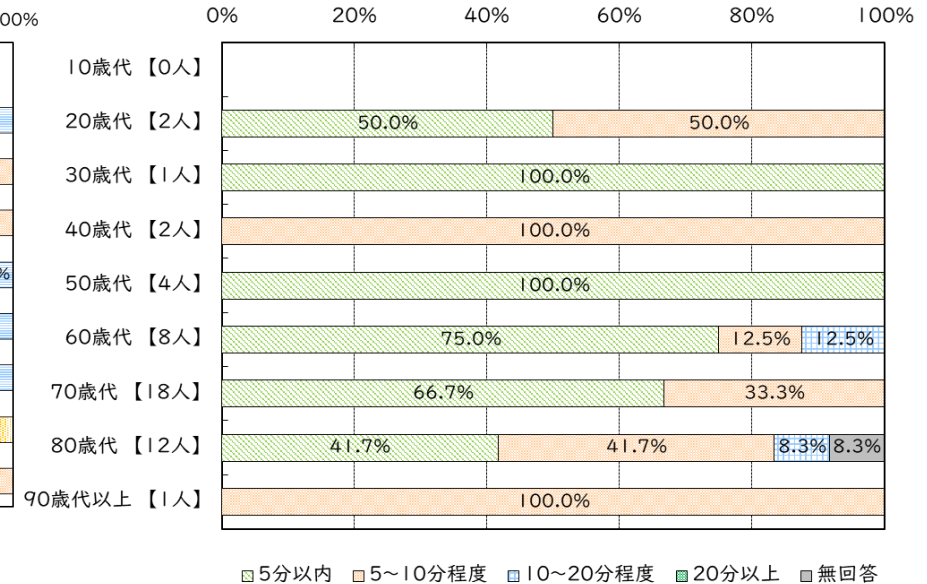
利用頻度



利用目的



最寄りの停留所までの所要時間



- ◆利用頻度は、60歳代で「月2~3回」以上の頻度が多くなっている。
- ◆「天候の悪い日のみ」は、50歳代で多くなっている。

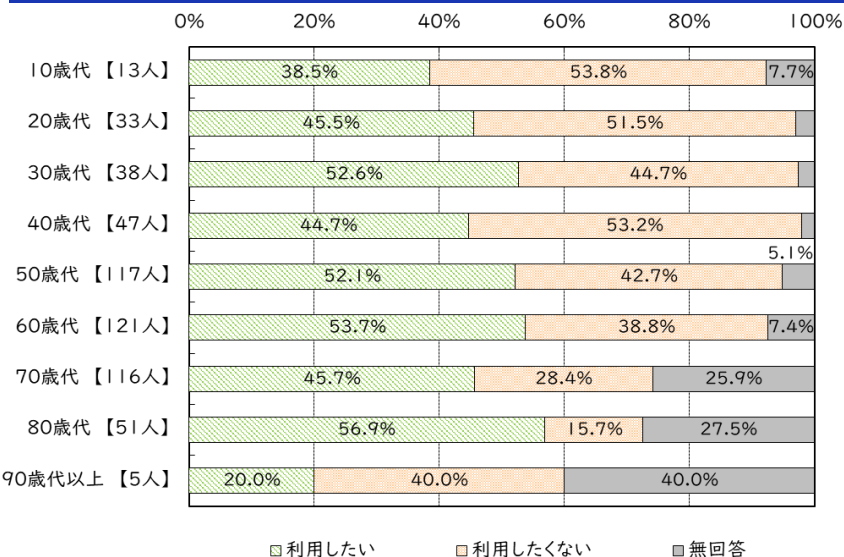
- ◆利用目的は、全体的に「買い物」が多くなっている。
- ◆「通院」は、50歳代以降増加傾向となっている。

- ◆最寄り停留所までの徒歩時間は、全体的に10分以内が中心である。
- ◆60歳代以降では年齢が上がるにつれて、「5分以内」の割合が減少している。一方で、「5~10分程度」「10~20分程度」の割合が増加している。

4. 新しい公共交通の利用意向

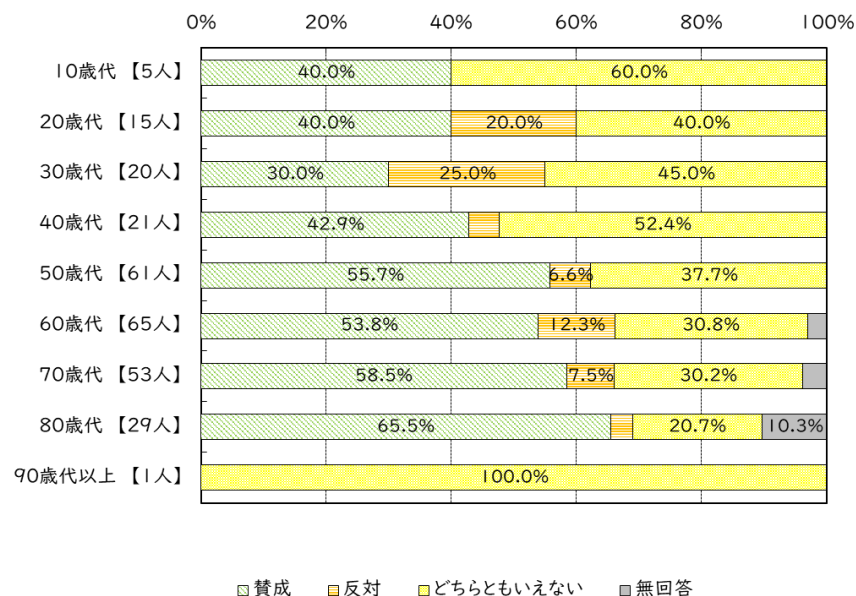
上牧小学校区

デマンド型交通が導入された場合の利用意向



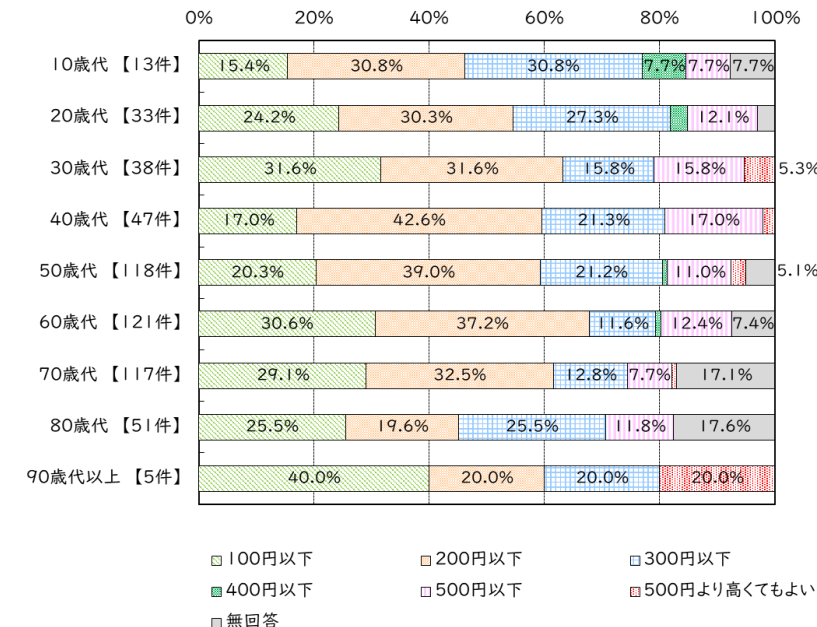
◆デマンド型交通について、30歳代～80歳代で「利用したい」が概ね半数と多くになっているが、10歳代や20歳代、90歳代以上では「利用したくない」の方が多くになっている。

有料化への賛否



◆公共交通の有料化については、50歳代～80歳代で「賛成」が多くなっている。
◆「反対」は、10歳代と90歳代以上では0となっており、30歳代で最も多くなっている。

妥当と思う価格帯

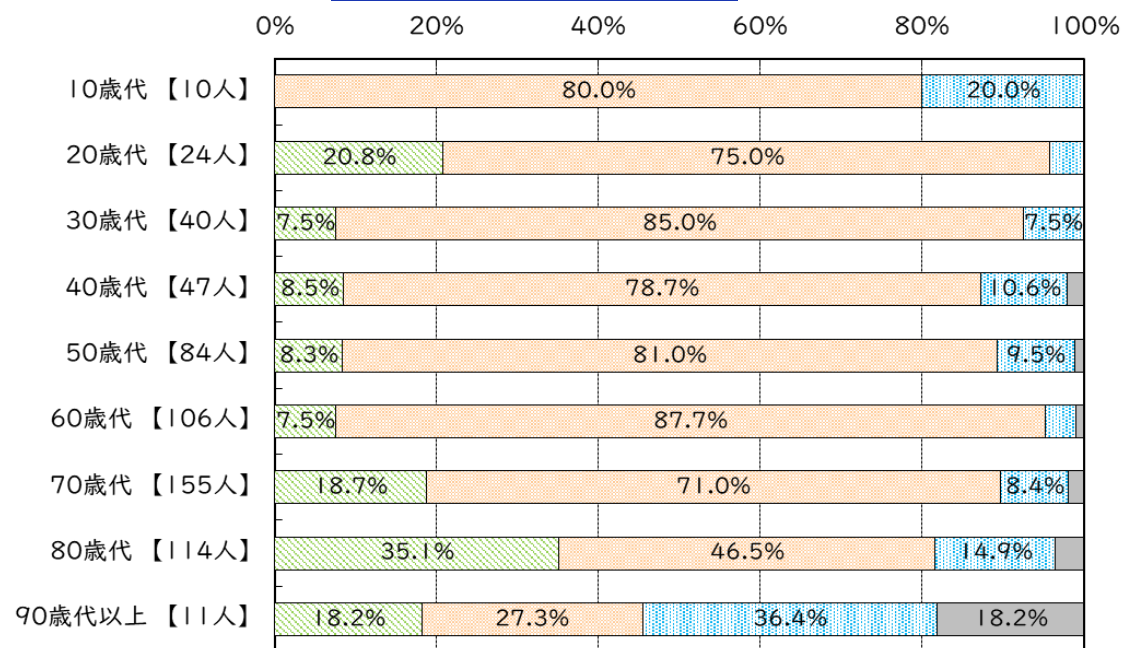


◆妥当と考えられる価格帯は、30歳代・60歳代・90歳代以上で「100円以下」が多い。
◆「200円以下」まで含めると、60歳代が最も低い価格帯である。
◆一方で、10歳代・20歳代では相対的に高い価格帯である。

5. コミュニティバスの利用状況

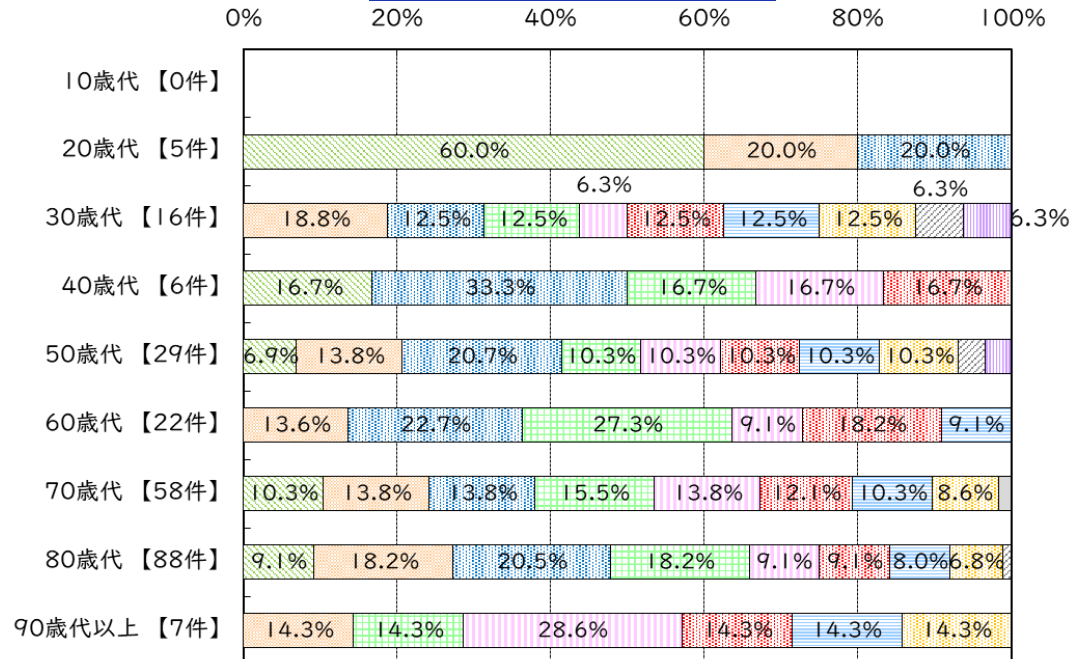
上牧第二
小学校区

現在の利用状況



■ 現在、利用している
 ■ 利用したことがない
 ■ 以前は利用していたが、現在は利用していない
 ■ 無回答

よく利用する時間帯



■ 8時台 ■ 9時台 ■ 10時台 ■ 11時台 ■ 12時台 ■ 13時台
 ■ 14時台 ■ 15時台 ■ 16時台 ■ 17時台 ■ 無回答

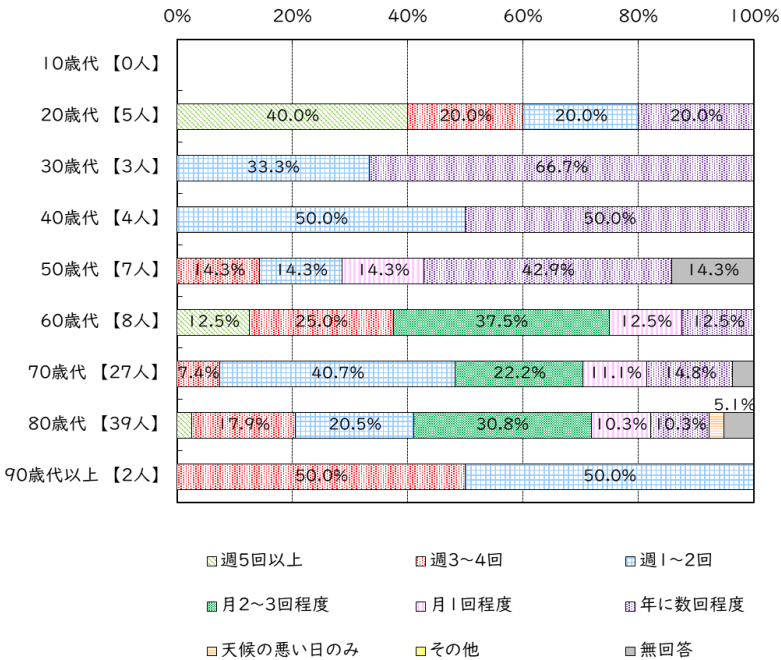
- ◆ 80歳代以外の年代では「車（自分で運転）」が最多となっている。
- ◆ 30～60歳代では「車（自分で運転）」と「送迎」を合わせた「車」が概ね半数以上を占める。

- ◆ 町内の公共施設までの主な交通手段は、10歳代では「徒歩」が中心である。
- ◆ 20～70歳代では「車（自分で運転）」と「家族等の送迎」を合わせた「車」が多い。
- ◆ 80歳代以上では「車」の利用が減少している。その一方で、「コミュニティバス」「タクシー」の利用が増加している。

5. コミュニティバスの利用状況

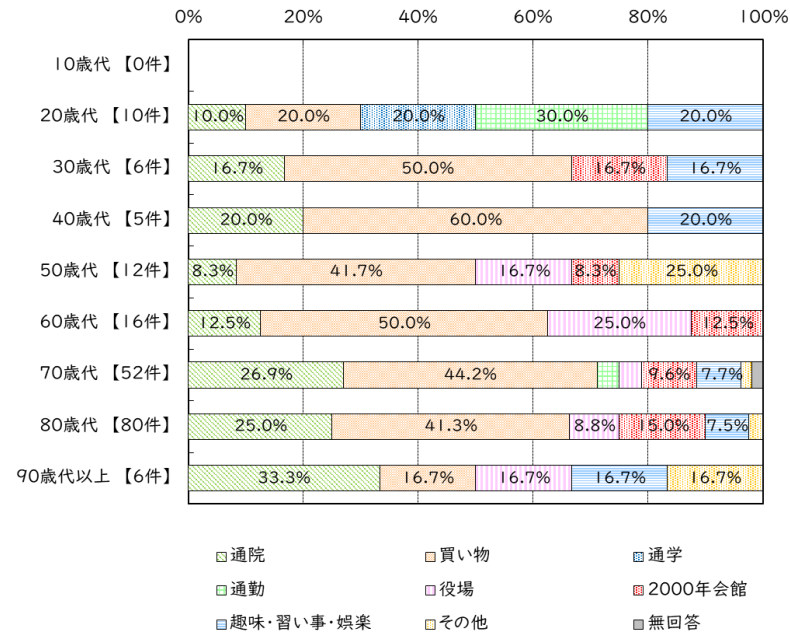
上牧第二
小学校区

利用頻度



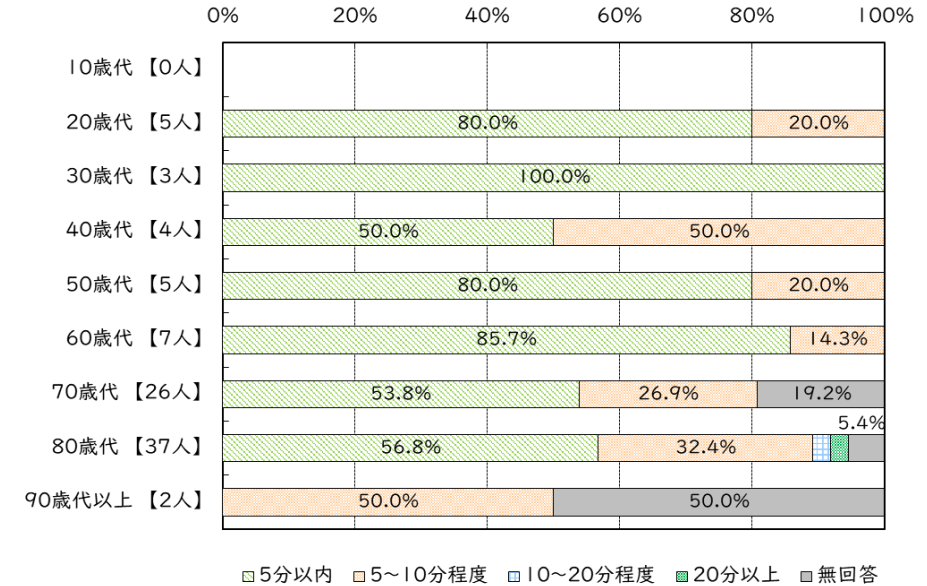
- ◆利用頻度は、20歳代で「週5回以上」の頻度が多くなっている。
- ◆「天候の悪い日のみ」は、80歳代で利用があるが、1割を下回っている。

利用目的



- ◆利用目的は、50歳代～80歳代で「買い物」が最も多くなっている。
- ◆「通院」は、20歳代以上の利用目的となっているが、年齢に応じて増加傾向となっている。

最寄りの停留所までの所要時間

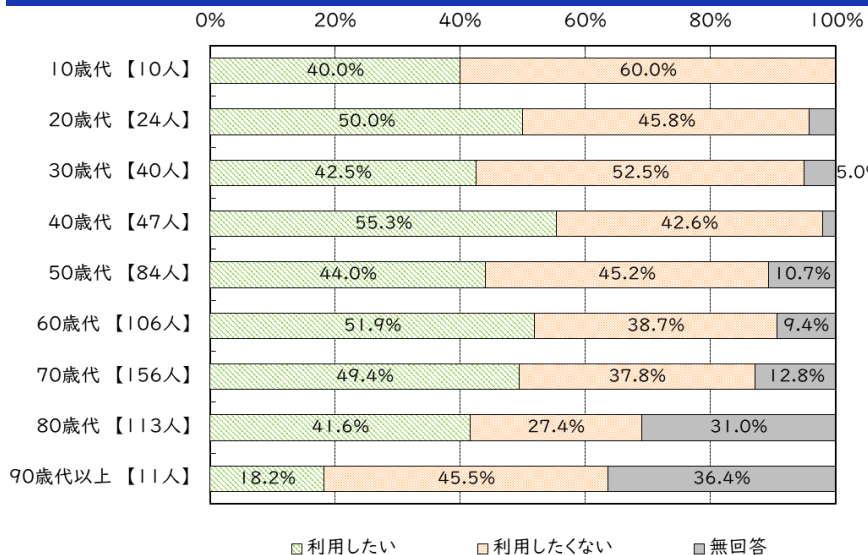


- ◆最寄り停留所までの徒歩時間は、全体的に10分以内が中心である。
- ◆70歳代以降では年齢が上がるにつれて、「5分以内」の割合が減少している。
- ◆一方で、「5~10分程度」の割合が増加している。

6. 新しい公共交通の利用意向

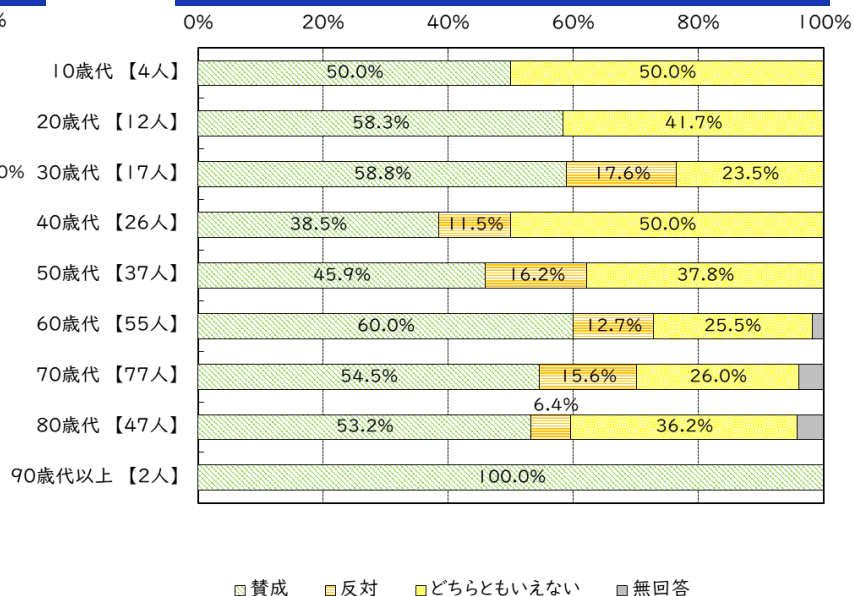
上牧第二
小学校区

デマンド型交通が導入された場合の利用意向



◆デマンド型交通について、10歳代～80歳代で「利用したい」が4割以上となっている。

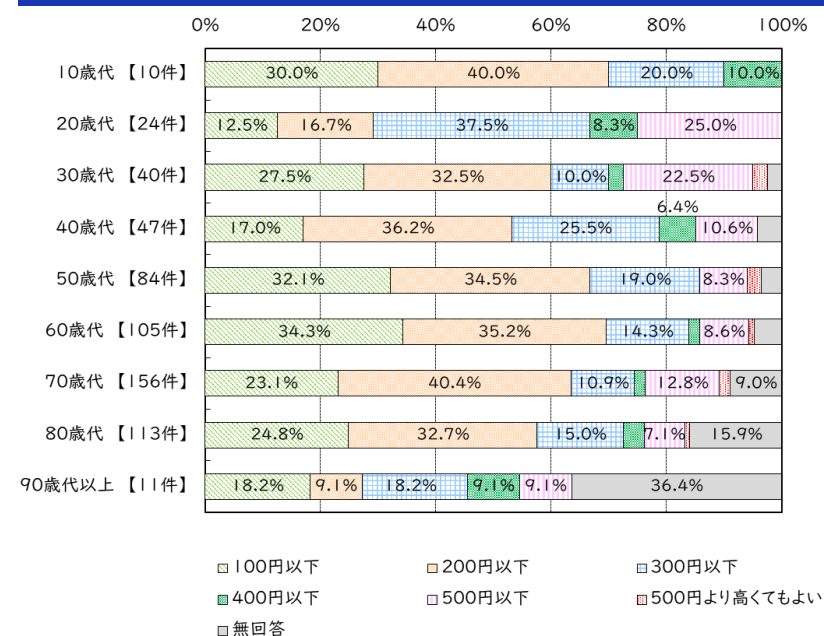
有料化への賛否



◆公共交通の有料化については、40歳代と50歳代以外の他の年代で「賛成」が多くなっており、10歳代と40歳代では「どちらともいえない」が多くなっている。

◆「反対」は30歳代で最も多くなっている。

妥当と思う価格帯



◆妥当と考えられる価格帯は、10歳代・30歳代・50歳代・60歳代で「100円以下」が多い。

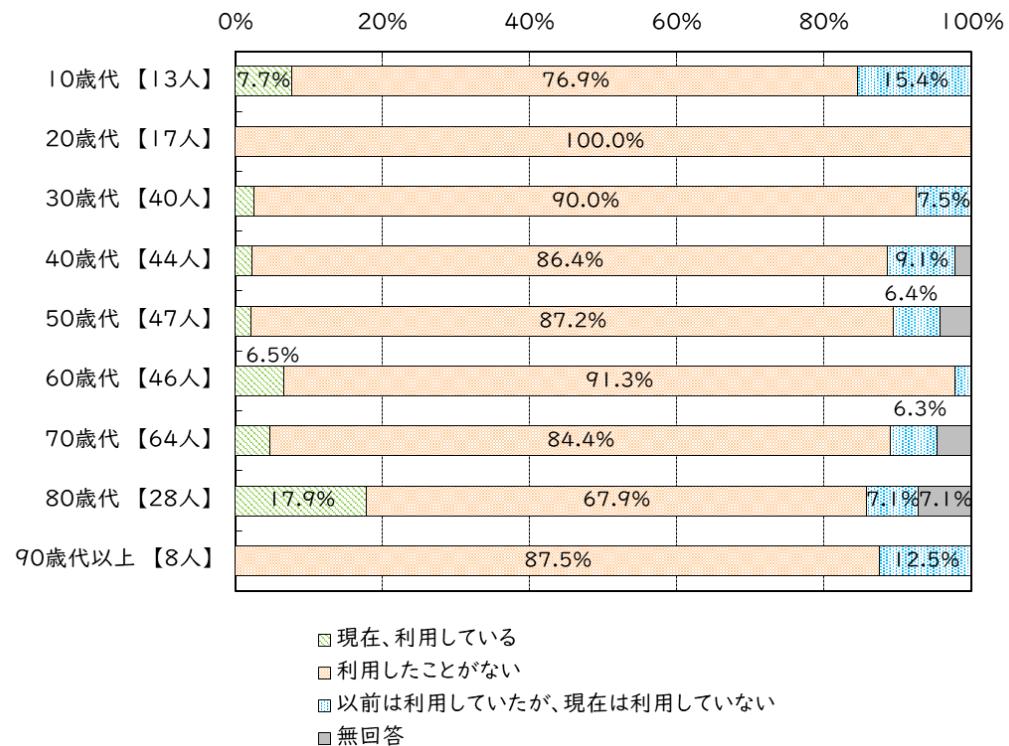
◆「200円以下」まで含めると、10歳代が最も低い価格帯である。

◆一方で、20歳代・90歳代以上では相対的に高い価格帯である。

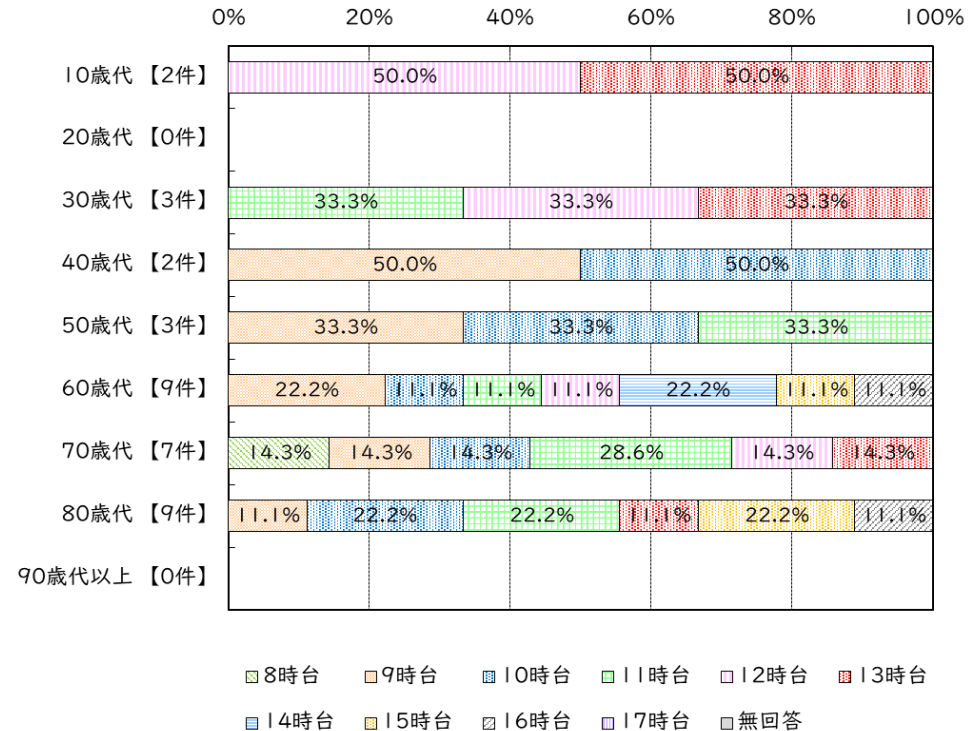
7. コミュニティバスの利用状況

上牧第三
小学校区

現在の利用状況



よく利用する時間帯



◆コミュニティバスを「現在、利用している」は、80歳代で最も多くなっており、20歳代は「利用したことがない」で占められている。

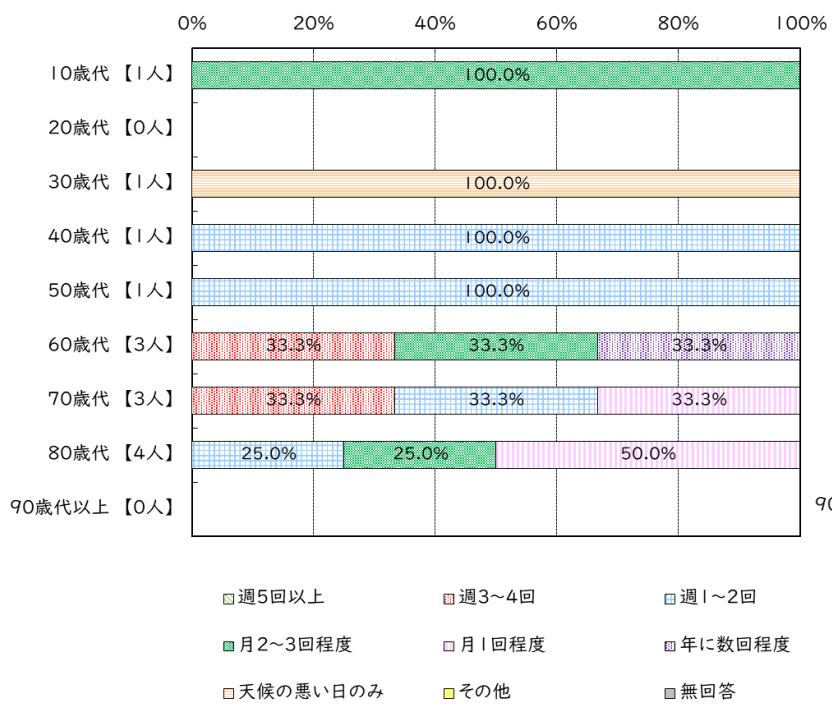
◆「以前は利用していたが、現在は利用していない」は20歳代以外の他の年代に一定数いる。

◆利用時間帯は、全体的に午前の時間帯が多くなっているが、10歳代では午前の時間帯と午後の時間帯の利用が概ね同程度となっている。

8. コミュニティバスの利用状況

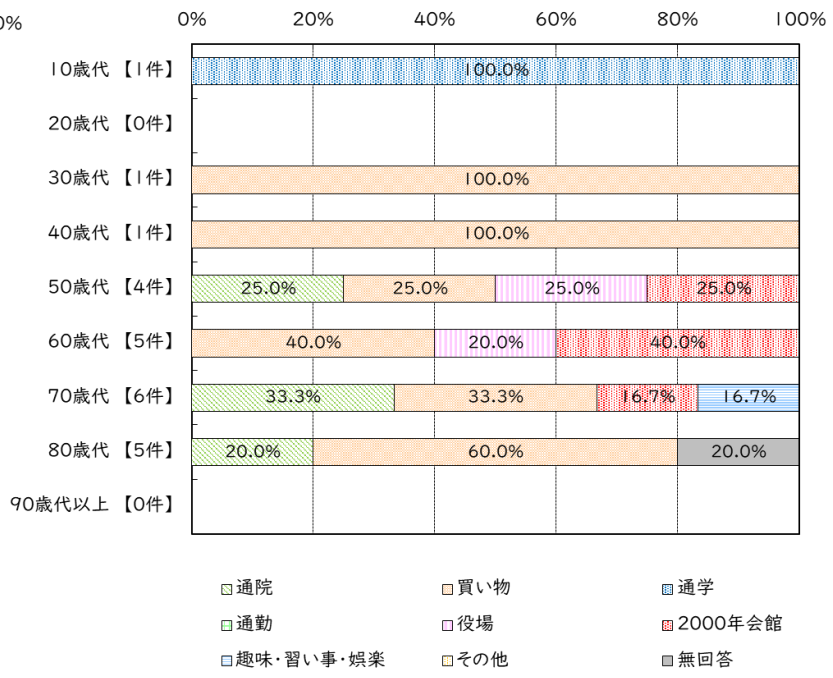
上牧第三
小学校区

利用頻度



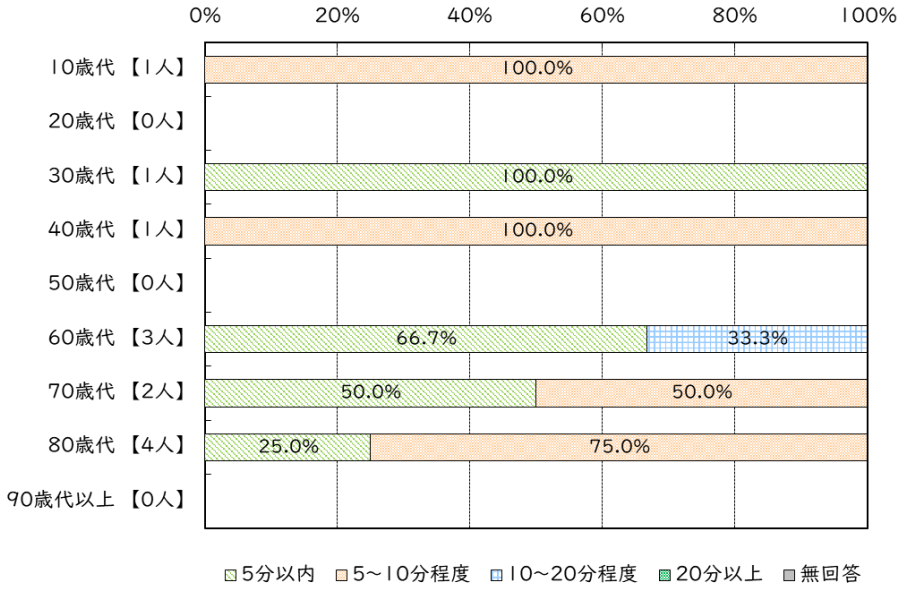
- ◆利用頻度は、60歳代以外の40歳代～70歳代で「週1～2回」以上の頻度が多くなっている。
- ◆「天候の悪い日のみ」は、30歳代で多くなっている。

利用目的



- ◆利用目的は、30歳代～80歳代で「買い物」が多くなっている。
- ◆「通院」は、70歳代で最も多くなっている。

最寄りの停留所までの所要時間

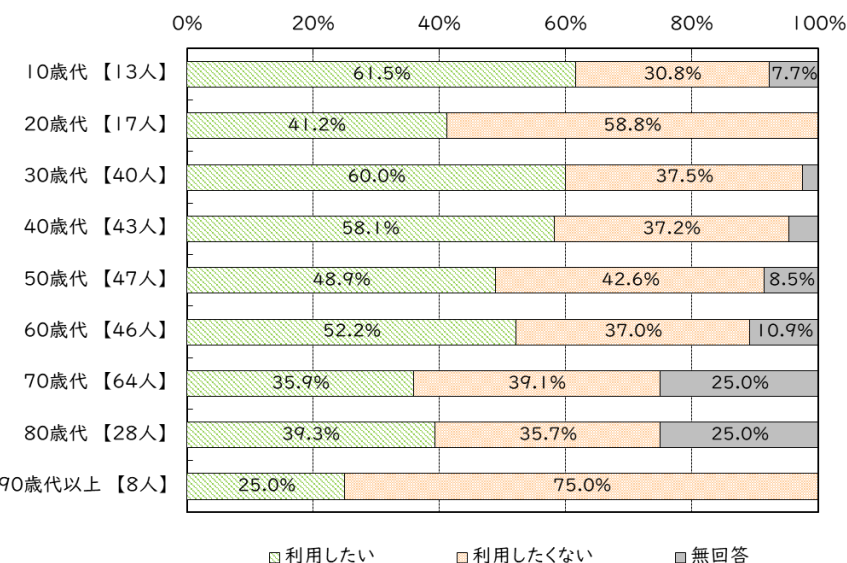


- ◆最寄りの停留所までの徒歩での所要時間は、全体的に10分以内となっており、70歳代や80歳代では「5分以内」が減少し、「5～10分程度」が増加している。

9. 新しい公共交通の利用意向

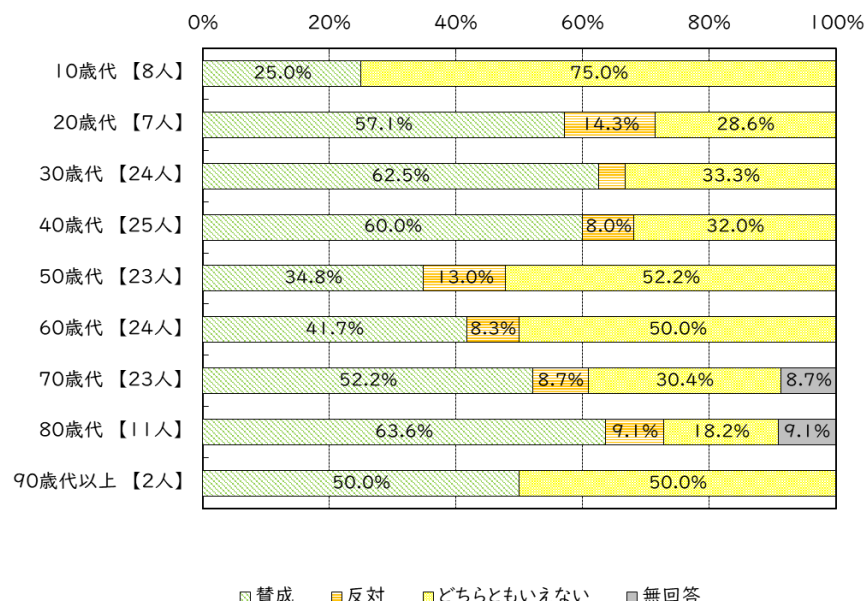
上牧第三
小学校区

デマンド型交通が導入された場合の利用意向



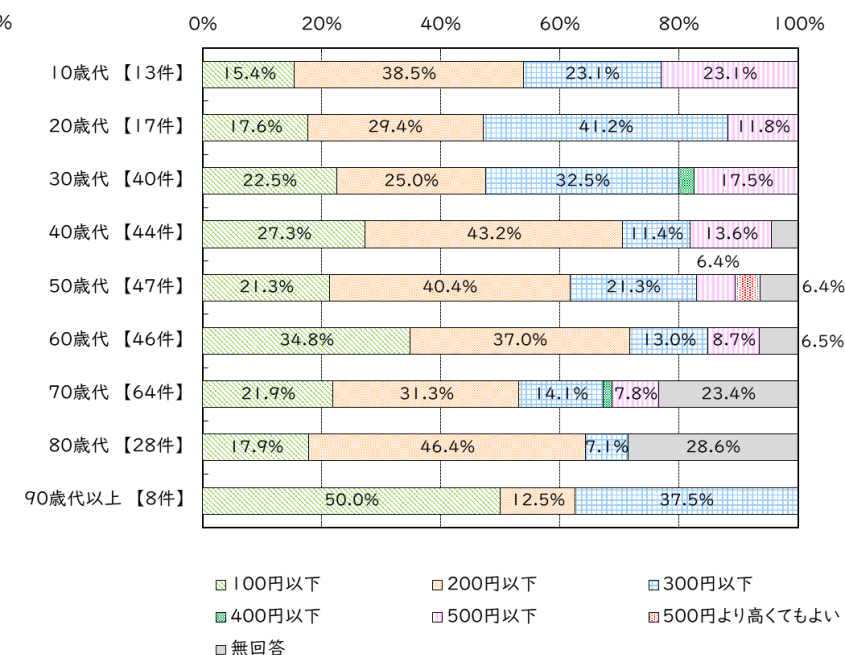
- ◆ デマンド型交通について、10歳代や30歳代～60歳代で「利用したい」が概ね半数となっている。
- ◆ 20歳代や70歳代以上では「利用したくない」の方が多くなっている。

有料化への賛否



- ◆ 公共交通の有料化については、10歳代と50歳代以外の他の年代で「賛成」が多くなっている。
- ◆ 10歳代では「どちらともいえない」が多くなっている。

妥当と思う価格帯



- ◆ 妥当と考えられる価格帯は、90歳代以上で「100円以下」が半数程度を占める。
- ◆ 「200円以下」まで含めると、60歳代が最も低い価格帯である。
- ◆ 一方で、20歳代・30歳代以上では相対的に高い価格帯を志向している。

10. 過年度調査時との比較

コミュニティバスを利用していない理由

(令和7年度)

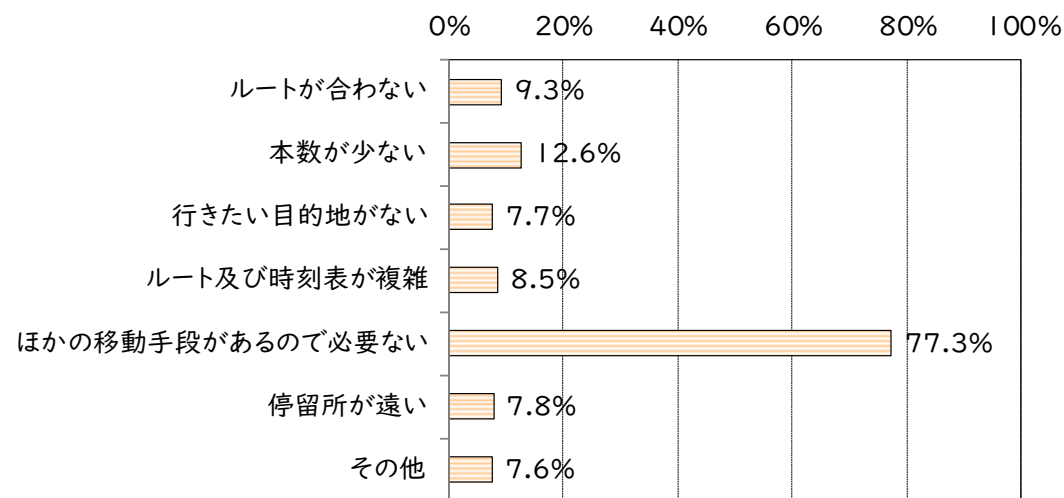
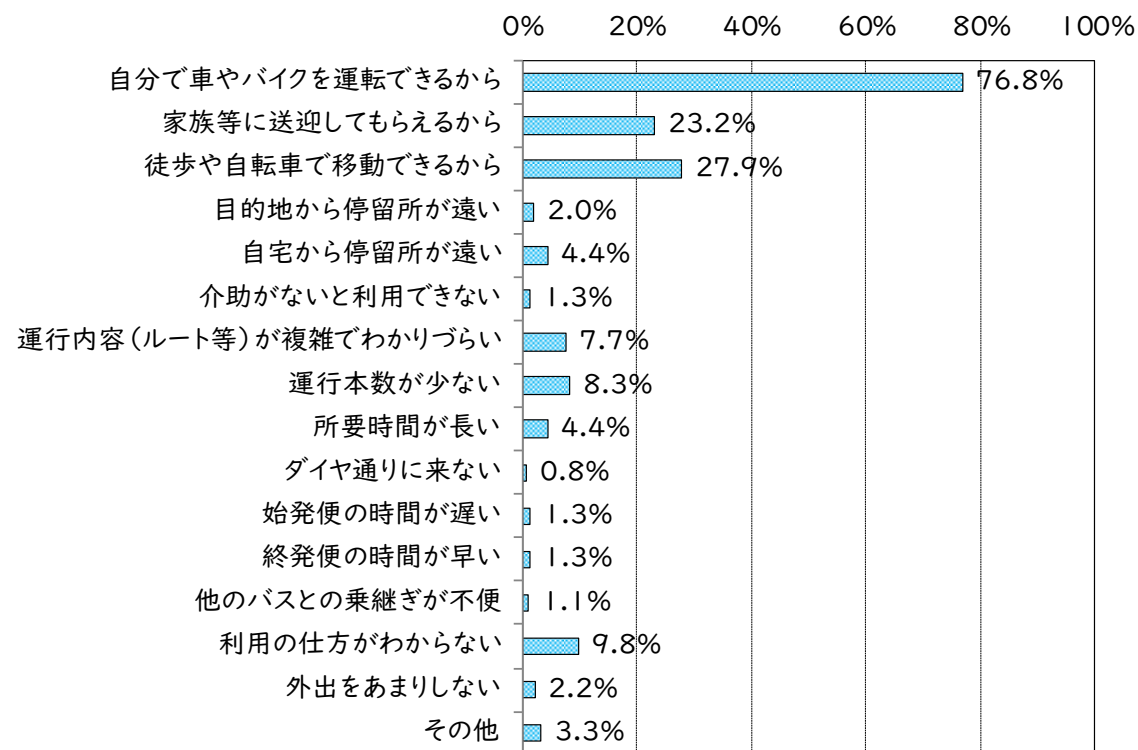
1,136人

問27で「利用したことがない」と回答

(平成30年度)

771人

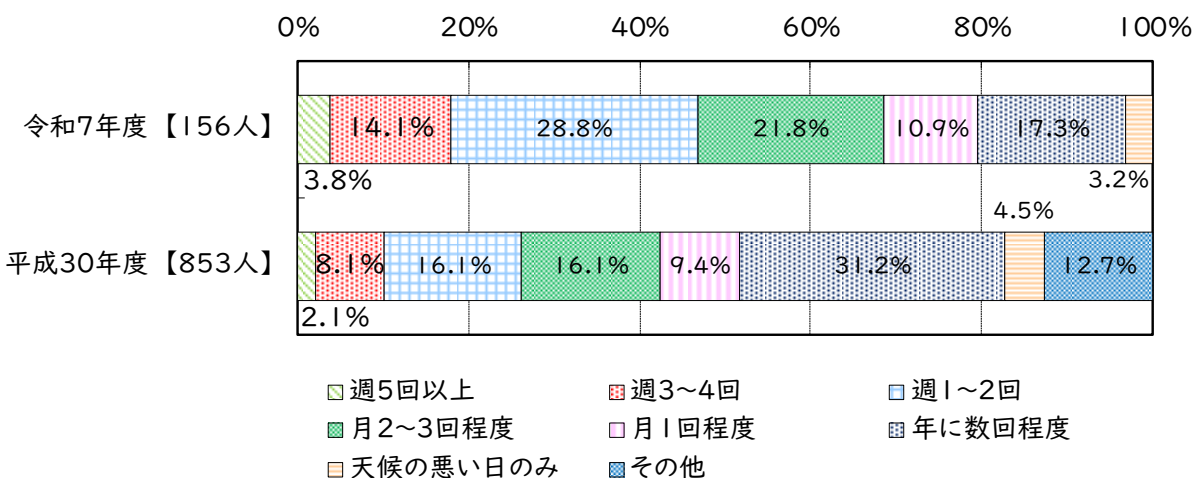
判断できない回答、無回答を除く



- ◆コミュニティバスを利用していない理由は、両年度ともに「自分で車やバイクを運転できるから」「ほかの移動手段があるので必要ない」といった、代替手段の存在を理由とする回答が多くなっている。
- ◆その他の理由では、「運行本数が少ない」が12.6%から8.3%に、「行きたい目的地がない」が7.7%から「目的地から停留所が遠い」の2.0%に減少している。

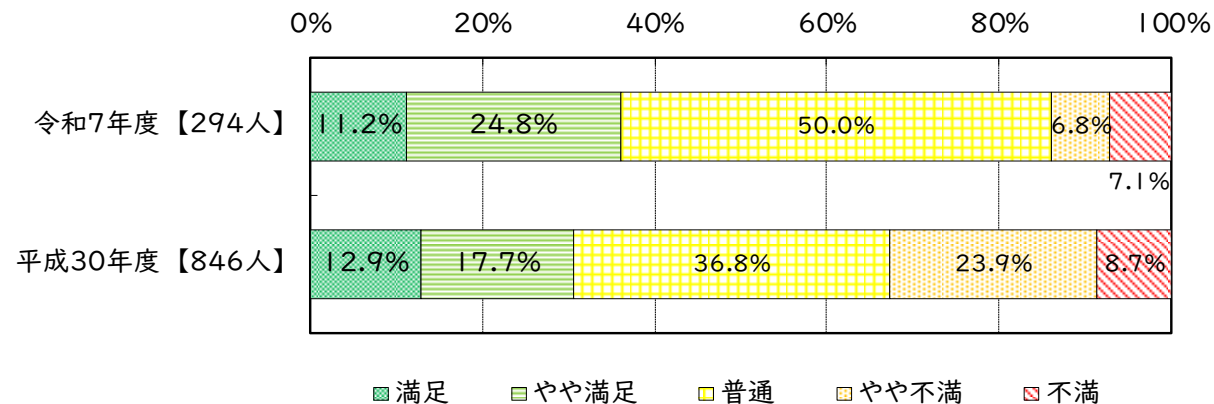
10. 過年度調査時との比較

コミュニティバスの利用頻度



◆コミュニティバスの利用頻度は、「月に1回程度」以上の利用頻度が増加しており、特に「週1~2回」が大きく増加している。

コミュニティバスに対する満足度



◆コミュニティバスに対する総合的な満足度（5段階）は、「満足」と「やや満足」をあわせた満足は増加しており、「やや不満」と「不満」をあわせや不満は減少している。

11. 委員からのご意見

◆委員からのご意見とそのご回答（対応等）は以下のとおり。

番号	ご意見	ご回答(対応等)
1	P21、下から4行目「病院」の文字が誤っているのでは P52、下から4行目「河内町」⇒河合町では P43、下から5行目「ファのお墓の土曜日に」は原文ままと書かれているが、掲載については検討しては。	即時修正し公式ホームページへ再掲載しました。 原文の掲載については、委託事業者と協議の上、原文を改ざんすることとなるため、修正を敢えてしませんでした。
2	これだけ多くの項目があるアンケートに回答していただき大変だったと思います。もう少し簡素化できなかったのか？	今後も定期的にアンケート調査が必要となることから、回答項目や回答のしやすさを考慮させていただきます。
3	桜ヶ丘から服部病院に通院する場合、予約時間の関係で公共交通、コミュニティバスともに利用しづらい。デマンドタクシーが導入されれば、500円以下に設定できれば利用します。現状ではタクシーが予約できない。	今年度策定を予定している地域公共交通計画において対応を検討します。 またご意見等をいただけますと幸いです。 (コミュニティバスのダイヤ見直しや、新たな公共交通等)
4	P42ページ意向の自由意見で、公共交通に対する理解が進んでいないと感じた。バス、タクシーとも人手不足、燃料代の高騰等取り巻く環境は厳しい中、運行を続けている努力等は、評価されていないのは周知不足によるものかと感じました。	公共交通に対する理解醸成のための取組みの実施等について、今年度策定を予定している地域公共交通計画において対応を検討します。

11. 委員からのご意見

◆委員からのご意見とその対応（案）は以下のとおり。

番号	ご意見	対応(案)
5	P40問35の回答について、コミュニティバスの有料化について、P24問27で、コミュバスを利用されている方で有料化に賛成している人は、何人ぐらいおられるのでしょうか。利用されていない人は、コミュバスに係る経費を見て有料化と考える人もおられると思いますが、実際利用されている人は、有料化に対してどのように考えておられるのでしょうか。利用されている方の意見は貴重と考えます。	コミュニティバス利用者における、有料化の賛否は以下の通りです。 ■賛成:52人(31.5%) ■反対:51人(30.9%) ■どちらともいえない:56人(33.9%) となり、意見としては半分に分かれている状況です。 (参考:回答者全体の賛成は40.8%)